留学生の日本企業への就職・日本企業での活躍へ向けての提言

静岡県留学生等交流推進協議会

【留学生】

1．日本の就職活動と、その意味を正しく理解する。
　・十分な企業研究、自己分析
　・自分がしたいことの明確化
2．大学生活を通して英語力、パソコンのスキル、専門的な知識・技能、日本語を身に付ける。
3．アルバイトやサークル活動、社会活動などに参加し、「組織としての日本」を注意深く観察する。

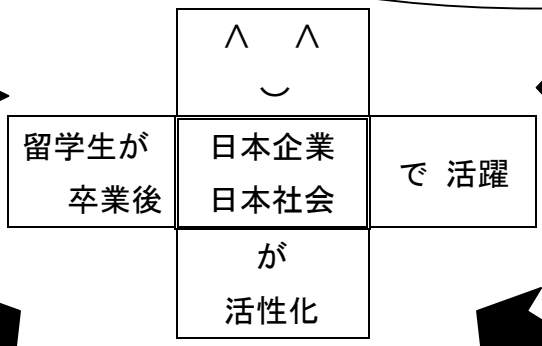
【日本企業】

1．外国人社員を採用する意義を明確にし、全社で共有する。
　・意義を具体化するために必要な事柄を洗い出し、実現に向けて計画、実行
　・その過程で、または結果として、留学生雇用に対する漠然とした不安が解消
2．適材適所で人材を活用する。

外国人社員の強みを認識し、企業という組織の中で、外国人社員が果たす役割を**外国人社員自身**と**企業**が各々判断する。

信頼覚悟

信頼覚悟



【大学】

1．留学生へ日本の「就職活動」に関する知識を提供する。
2．留学生へ就職や日本企業に関する情報を適切な時期に、適切な形で提供する。
3．優秀な人材の日本定着には、高い日本語能力と高い専門知識・技能が必要であることを、あらゆる機会を通じて、学内へ周知する。

【日本政府】

1．留学生が高度人材として日本社会に根付く意義を明確にする。
　・留学生が卒業後、社会人として在留しやすい環境作りが必要